

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年1月10日 (2013.1.10)

【公開番号】特開2011-168007(P2011-168007A)

【公開日】平成23年9月1日 (2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2010-35962(P2010-35962)

【国際特許分類】

B 4 1 J 5/44 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 5/44

H 0 4 N 1/387

B 4 1 J 21/00 Z

B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

本発明は、上記目的を達成するために、出力画像データに付加する付加文字列データを生成する付加文字列データ生成手段と、言語の種類と文字列の並び方向及び並び順を含む記述方式とを選択する言語記述方式選択手段と、種々の言語のフォントを記憶するフォント記憶手段と、前記付加文字列データ生成手段で生成された付加文字列データに基づき、前記言語記述方式選択手段で選択された種類の言語のフォントを前記フォント記憶手段から取得して該言語記述方式選択手段で選択された記述方式に従って該フォントを並べることにより、出力用の付加文字列データを生成する出力付加文字列データ生成手段と、前記出力付加文字列生成手段の生成した付加文字列データを前記出力画像データの所定位置に付加する付加手段と、を備えていることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出力画像データに付加する付加文字列データを生成する付加文字列データ生成手段と、
言語の種類と文字列の並び方向及び並び順を含む記述方式とを選択する言語記述方式選択手段と、

種々の言語のフォントを記憶するフォント記憶手段と、

前記付加文字列データ生成手段で生成された付加文字列データに基づき、前記言語記述方式選択手段で選択された種類の言語のフォントを前記フォント記憶手段から取得して該言語記述方式選択手段で選択された記述方式に従って該フォントを並べることにより、出力用の付加文字列データを生成する出力付加文字列データ生成手段と、

前記出力付加文字列生成手段の生成した付加文字列データを前記出力画像データの所定位置に付加する付加手段と、

を備えていることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記画像処理装置は、言語の種類と文字列の並び方向及び並び順を含む記述方式とを該言語記述方式毎に文化圏として対応させて記憶する文化圏記憶手段を備え、

前記言語記述方式選択手段は、前記文化圏記憶手段の記憶する文化圏から所定の文化圏を選択することにより、前記言語の種類及び記述方式を選択することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記付加文字列データ生成手段は、複数の予め設定されているスタンプから適宜のスタンプが選択可能であり、

前記フォント記憶手段は、前記複数のスタンプに対してそれぞれ複数の言語及び前記記述方式に応じたスタンプデータを記憶し、

前記出力付加文字列データ生成手段は、前記付加文字列データ生成手段で前記スタンプが選択され、前記言語記述方式選択手段で言語及び記述方式が選択されると、選択された該スタンプであって選択された言語及び記述方式のスタンプデータを前記フォント記憶手段から取得することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記画像処理装置は、

各種データを文字列で表示する表示手段と、

前記表示手段に表示させる文字列の言語及び記述方式を選択する表示方式選択手段と、

前記表示手段に表示させる文字列であって、前記表示方式選択手段で選択された言語のフォントを前記フォント記憶手段から取得して該表示方式選択手段で選択された記述方式に従って該フォントを並べて表示用の文字列データを生成して前記表示手段に表示させる表示文字列制御手段と、

を備えていることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の画像処理装置。

。

【請求項 5】

前記表示方式選択手段は、前記言語記述方式選択手段で選択された言語及び記述方式と同じ言語及び記述方式を選択することを特徴とする請求項 4 記載の画像処理装置。

【請求項 6】

出力画像データに付加する付加文字列データを生成する付加文字列データ生成処理ステップと、

言語の種類と文字列の並び方向及び並び順を含む記述方式とを選択する言語記述方式選択処理ステップと、

前記付加文字列データ生成処理ステップで生成された付加文字列データに基づき、前記言語記述方式選択処理ステップで選択された種類の言語のフォントを、種々の言語のフォントを記憶するフォント記憶手段から取得して該言語記述方式選択処理ステップで選択さ

れた記述方式に従って該フォントを並べることにより、出力用の付加文字列データを生成する出力付加文字列データ生成処理ステップと、

前記出力付加文字列生成処理ステップの生成した付加文字列データを前記出力画像データの所定位置に付加する付加処理ステップと、
を備えていることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 7】

コンピュータに画像処理を実行させるための画像処理プログラムであって、
出力画像データに付加する付加文字列データを生成する付加文字列データ生成処理と、
言語の種類と文字列の並び方向及び並び順を含む記述方式とを選択する言語記述方式選択処理と、

前記付加文字列データ生成処理で生成された付加文字列データに基づき、前記言語記述方式選択処理で選択された種類の言語のフォントを、種々の言語のフォントを記憶するフォント記憶手段から取得して該言語記述方式選択処理で選択された記述方式に従って該フォントを並べることにより、出力用の付加文字列データを生成する出力付加文字列データ生成処理と、

前記出力付加文字列生成処理の生成した付加文字列データを前記出力画像データの所定位置に付加する付加処理と、

を行わせる各ステップを有していることを特徴とする画像処理プログラム。

【請求項 8】

請求項 7 記載の画像処理プログラムを記録したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記録媒体。